

基本目標																	
施策の展開																	
取り組みの柱・実績																	
目標Ⅰ 地域で生きがいを持ち、いきいきと暮らす																	
基本施策Ⅰ 地域のネットワークづくり																	
1-①地域包括ケア推進事業	<p>包括ケア体制の推進を図るため、令和2年度より包括ケア推進協議会（代表者会議・実務者会議）の代表者会議を、地域ケア推進会議に、実務者会議を、課題などに分け、各種専門職による「地域ケア個別会議」、「フレイル予防コア会議」、「生活コーディネーター地域ごとの取り組み」とし、高齢者の自立した生活に向け、生活課題、個別課題の把握を行い、生活支援策などについて検討を行っている。</p> <p>また、多職種連携を深めるために研修会なども開催する。合わせて、包括ケアの講演会を実施し、住民に対する啓発を行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ケア個別会議回数</td> <td>4回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>フレイル予防コア会議回数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>多職種連携研修会回数</td> <td>0回</td> <td>0回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・高齢者見守り・支え合い研修会 令和5年3月25日 境港市保健相談センター講堂 講 師：鳥取大学 竹川俊夫教授 事例発表：中浜地区各種団体連絡協議会、竹内町安全・安心ネットワーク</p> <p>・多職種連携研修会はコロナ禍のため中止とする。</p>		令和3年度	令和4年度	地域ケア個別会議回数	4回	3回	フレイル予防コア会議回数	1回	1回	多職種連携研修会回数	0回	0回			
	令和3年度	令和4年度															
地域ケア個別会議回数	4回	3回															
フレイル予防コア会議回数	1回	1回															
多職種連携研修会回数	0回	0回															
1-②地域包括支援センターの機能強化	<p>地域包括ケア体制の中核を担う、直営型地域包括支援センターを市役所内に設置し、高齢者福祉に関する相談業務やフレイル予防の取り組みを中心とした介護予防事業及び、住民自身が自分事として健康づくりや介護予防に取り組める仕組みづくりを継続推進する。また、地域の高齢者及びその家族の福祉向上を図る。令和3年5月から出向職員を1人増員、14人とし、更に令和4年度から、市職員保健師を1人増員配置とし、18人体制となる。</p>																
ア 相談・支援内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険</td> <td>1,966件</td> <td>1,762件</td> </tr> <tr> <td>ふれあいの家</td> <td>7件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>パワーリハビリ</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>軽度生活援助事業</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	介護保険	1,966件	1,762件	ふれあいの家	7件	2件	パワーリハビリ	2件	3件	軽度生活援助事業	2件	2件	
	令和3年度	令和4年度															
介護保険	1,966件	1,762件															
ふれあいの家	7件	2件															
パワーリハビリ	2件	3件															
軽度生活援助事業	2件	2件															

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

	令和3年度	令和4年度
配食サービス	25件	17件
緊急通報システム	1件	3件
施設・病院	589件	545件
福祉用具	199件	169件
住宅改修	96件	97件
精神・認知症問題	207件	250件
家族問題	39件	42件
経済問題	19件	35件
安否確認	228件	166件
その他	19件	6件
合計	3,399件	3,099件

	令和3年度	令和4年度
認知症ケース対応	1件	0件
権利擁護・成年後見	4件	14件
高齢者虐待	7件	3件
合計	12件	17件

	令和3年度	令和4年度
ケアマネジャー支援	23件	41件

	令和3年度	令和4年度
担当件数(請求件数より)	7,461件	7,904件
ケアマネジャー人数	13人、令和3年5月から14人	14人

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

オ 介護保険運営協議会

地域包括支援センター業務、地域密着型サービス及び介護予防・日常生活支援総合事業に関する審議等を行う委員会を設置することで、適正な介護保険業務の運営を確保する。

	令和3年度	令和4年度
開催回数	4回	4回

1-③地域での見守り体制の充実

ア 高齢者見守りネットワーク構築事業

災害時に避難支援が必要な高齢者、障がい者等の安否確認等を行う地域での取り組みに対し、支援を行う。

区 分	令和3年度	令和4年度
当該年度補助件数	2件	3件

※事業実施地区数(令和4年度末時点):4地区(6団体)

イ 高齢者実態調査事業

65歳以上の一人暮らし高齢者や80歳以上のみの高齢者世帯を訪問し、生活状況を把握することで、支援を必要とする者に対する訪問活動等に繋げる。

	令和3年度	令和4年度
65歳以上の独居世帯	1,590世帯	1,682世帯
80歳以上のみの世帯	222世帯	239世帯

ウ 緊急通報システム事業

身体に不安のある一人暮らし高齢者宅に緊急通報装置を設置し、訪問や電話による定期的な安否確認や相談等に応じる。

区 分	令和3年度	令和4年度
設置件数(年度末時点)	23件	24件

エ 高齢者見守り事業

75歳以上で在宅の一人暮らし高齢者宅を月1回訪問し、安否確認し生活相談等を行う。

区 分	令和3年度	令和4年度
登録者数	6人	5人

基本目標											
施策の展開											
取り組みの柱・実績											
オ 避難行動要支援者名簿の整備	<p>災害時の避難行動要支援者を把握し、データ管理を行うとともに、地域の自主防災組織等に情報を提供し、災害時の避難支援や平常時からの見守りに活用する。</p> <p>対象者：65歳以上の一人暮らし高齢者、80歳以上のみの高齢者世帯、要介護3以上の在宅高齢者、身体障害者手帳1・2級の在宅生活者</p>										
カ 認知症高齢者等事前登録事業	<p>行方不明となるおそれのある認知症高齢者等を事前に登録し、その情報を警察と共有することで、行方不明時に早期発見・保護できるよう支援する。</p> <p>令和4年度末登録者数合計：75人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規登録者数</td> <td>11人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和3年度	令和4年度	新規登録者数	11人	20人				
区 分	令和3年度	令和4年度									
新規登録者数	11人	20人									
基本施策2 地域資源を活かした多様な介護予防と社会参加の推進											
2-①健康づくりと介護予防の推進	<p>平成30年度からは、フレイル予防を取り組みの中心とし、健康長寿のための3つの柱「運動」「栄養」「社会参加」と地域づくりの視点を取り入れ、各事業を包括的に展開する。</p>										
ア 運動器機能向上事業	<p>寝たきりの原因となる高齢者の転倒を予防するため、体操や脳トレ等の実施や転倒予防に関する講演、講話を開催する。</p> <p>いきいき百歳体操を4回シリーズの教室で実施後、地域住民の自主サークル活動につながり、令和4年度末市内60か所で実施されている(登録届数より)。保健相談センターで、リハビリ専門職を講師としたいきいき百歳体操実践教室や地域の活動の場へ出かけ、声かけ支援等フォローを実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用人員</td> <td>187人</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>16回</td> <td>11回</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	延利用人員	187人	200人	実施回数	16回	11回	
	令和3年度	令和4年度									
延利用人員	187人	200人									
実施回数	16回	11回									
イ みんな一緒にフレイル予防大作戦	<p>高知市が作成した「いきいき百歳体操」のDVDを活用し地域で自主活動につながり、広がりを見せている。今回、境港市版フレイル予防実践動画として、「いきいき百歳体操」「口腔体操」「タオル体操」「脳トレ」など、何種類かのフレイル予防の具体策を1本にまとめたDVDを作成し、住民が地域の集う場や個人で行うフレイル予防のツールとして利用することで、健康寿命延伸に向けた意識づけや、自主活動が継続するための意欲向上につなげる。令和3年度に作成し、地域の集う場へ約100枚配布、令和4年度からは希望者個人へ約150枚配布。また、令和4年度はフレイル予防の取り組みをまとめたポスターを作成し、地域へ配布、活動の啓発を図る。</p>										

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

ウ 介護予防筋力向上トレーニング事業

ストレッチングや器械を使用した筋力トレーニングなどの運動指導やコースによって、口腔機能の向上、栄養改善に関する知識・技術を提供し、身体機能の維持・向上を図る。

・介護予防Iコース、器具3コース、

委託先:社会福祉法人こうほうえん

実施場所:いきいきリハビリテーションセンターさかい幸朋苑、保健相談センター

・フィットネスBコース

委託先:株式会社パジャスポーツ

実施場所:保健相談センター

・フィットネスAコース

委託先:境港市社会福祉協議会

実施場所:ナマステホール

※令和3年度、4年度はコロナ禍のため教室を中止とした時期があり。

	令和3年度	令和4年度
延利用人員	2,829人	3,318人
実利用人員	122人	124人
実施回数	214回	232回

エ 健康相談事業

高齢者の心身の健康に関し、個人に応じたきめ細やかな指導及び助言を行う。

オ 健康教育事業

健康づくりや介護予防についての知識の普及によって、高齢者の健康の保持増進を図り、介護が必要な状態になることを予防する。

	令和3年度	令和4年度
延利用人員	66人	204人
実施回数	3回	11回

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

カ 口腔機能向上・栄養改善推進

平成30年度から実施しているフレイル予防対策として、健康長寿の3つの柱である「栄養、運動、社会参加」を生活の中にバランスよく取り入れ、実践できるように、そのうちの一つの栄養（口腔機能）について、管理栄養士の講話と調理のデモンストレーションや言語聴覚士の講話と口腔衛生・体操等の実技を取り入れた講座を開催。
また、口腔機能の講座は、後期高齢者広域連合の後期高齢者対象とする歯科健康診査を同時に開催。

	令和3年度	令和4年度
延利用人員	28人	146人
実施回数	1回	5回

キ 元気シニア増やそう（フレイル予防事業）

フレイル（虚弱）予防の取り組みの先駆けである、東京大学高齢社会研究機構（IOG）の先生方の指導を受け、平成30年度から本市ではIOGが開発されたフレイル予防の取り組みを開始。「フレイル予防啓発」：講演会や地域でのミニ講話、市報や地域などでの啓発活動、「人材育成」：フレイルサポーター、トレーナー養成講座、フレイル予防の推進：住民にフレイルチェックを実施し行動変容へつなげる、「ハイリスク者のフォロー」：ハイリスク者のフォロー講座、フレイル予防コア会議の開催、フレイル予防支援体制づくりをしていく。住民は、健康長寿のために大切な「栄養・運動・社会参加」について、生活の中でバランスよく実践できるように、フレイルチェックを繰り返し受講されることなどを促している。

	令和3年度	令和4年度
延利用人員	794人	1,065人
実施回数	57回	81回

ク 高齢者鍼・灸・マッサージ施術費助成事業

鍼・灸・マッサージ施術に要する費用の一部を助成。1回につき900円の助成券を申請月から3月までの月数分交付。
対象者：70歳以上で市民税非課税世帯の者

区 分	令和3年度	令和4年度
助成券交付者	19件	20件

ケ 生活管理指導短期宿泊事業

介護保険の認定対象外であっても介護予防が特に必要な高齢者が、養護老人ホーム等に一時的に宿泊し、基本的な日常生活を送る訓練を行う。

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

2-②介護予防・日常生活支援総合事業の実施

要支援1・2の者、要介護状態となるおそれの高い高齢者に対し、介護予防や生活支援サービスを提供する。

平成28年4月から介護サービス事業所による訪問介護、通所介護相当のサービス提供を実施。平成29年度からは介護サービス事業所のほかシルバー人材センター、市社会福祉協議会等による多様なサービスを提供。

【訪問介護、通所介護相当サービス】

区 分	支給額(延利用件数)	
	令和3年度	令和4年度
訪問型サービス	31,054千円 (1,836件)	33,234千円 (1,944件)
通所型サービス	63,518千円 (2,823件)	62,433千円 (2,868件)

【多様なサービス】

区 分	委託先	定員
訪問型サービス	シルバー人材センター	-
通所型サービス	境港市社会福祉協議会	20人
	(福)こうほうえん	10人
	介護老人保健施設はまかせ	10人

2-③介護予防・生活支援サービスの体制整備

ア 生活支援体制整備事業

包括ケア体制の構築に向け、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を市社会福祉協議会に配置し、生活支援の担い手となるボランティアの育成や関係者のネットワーク化などを図る。

平成29年度に第1層(市全体区域)の生活支援コーディネーターを市社会福祉協議会に1名配置。令和4年度に1名増員し、現在は2人体制となっている。

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

イ 生活支援サービス事業

高齢者世帯の見守りを兼ねたごみ出し等の生活支援を行う地域団体を支援する。令和4年度末現在、7団体が登録。

区 分	令和3年度	令和4年度
実施団体数	2団体	2団体
延べ実施件数	30件	31件

ウ 軽度生活援助事業

一人暮らし高齢者等の在宅生活を支援するため、シルバー人材センターを利用した場合、年間16時間を限度に利用料の5割を助成する。

対象者：65歳以上の一人暮らし高齢者、もしくは70歳以上のみの高齢者世帯

区 分	令和3年度	令和4年度
利用者数	420人	427人
延利用時間	3,161時間	3,254.5時間

2-④社会参加と生きがいづくり

ア 高齢者クラブ活動の促進

単位高齢者クラブ及び市連合会組織の運営を財政支援し、高齢者の社会活動を支援する。

イ 多様な学習機会の創出

ウ 地域活動の促進

エ 就労促進（シルバー人材センター）

シルバー人材センターの運営支援により、高齢者の就業機会の増大を図り、高齢者の地域貢献や生きがいづくりを促進する。

シルバー人材センターの運営費補助のほか、軽度生活援助事業、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスの委託により高齢者の就業の機会を創出している。

オ 高齢者サークル活動支援

高齢者が活動するサークルやコミュニティ活動の立ち上げを支援することにより、社会参加の促進を通じた介護予防の推進、高齢者の生きがい・やりがいの増進を図る。

	令和3年度	令和4年度
委託件数	0件	2件

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

カ 高齢者ふれあいの家事業

在宅の高齢者を対象に、身近な集会所等で地域の援助員等と、レクリエーションや脳トレ、軽体操などの生きがい活動をとおして、社会的孤立の解消、自立生活の支援を行う。またこの活動で、フレイル予防にもつながっている。

区 分	令和3年度	令和4年度
延利用者数	9,705人	10,738人
回数	938回	1,082回

キ 敬老事業の実施

【敬老事業】

100歳を迎える高齢者に記念品を贈呈する。また、令和3年度までは、市内及び地区の最高齢者に記念品を、米寿を迎えた高齢者に対しては祝い金を贈呈していたが、令和4年度からは、境港市社会福祉協議会が数え77歳以上の高齢者全員に記念品を贈呈する事業を支援することで、市内高齢者の長寿を祝っている。

区 分	令和3年度	令和4年度
100歳高齢者	8人	15人
数え77歳以上高齢者	5,627人	5,824人

【金婚・ダイヤモンド婚記念事業】

婚姻50周年(金婚)、60周年(ダイヤモンド婚)にあたる高齢者夫婦に記念品等を贈り祝賀する。

区 分	令和3年度	令和4年度
ダイヤモンド婚	18組	33組
金婚	35組	31組

ク ボランティア活動の推進

社会参加を通じた介護予防の推進の観点から、介護施設で行う高齢者のボランティア活動の支援を境港市社会福祉協議会と連携して実施。

区 分	令和3年度	令和4年度
登録者	10人	10人

基本目標										
施策の展開										
取り組みの柱・実績										
	<p>ケ 高齢者の交流・活動の促進</p> <p>地域や社会と繋がっていない高齢者に対し、民生委員による訪問など様々な機会を通じて、高齢者ふれあいの家事業や介護支援ボランティア制度等、社会参加に繋がる事業を紹介し、高齢者同士や高齢者と地域住民との交流を促進する。</p>									
目標2 住み慣れた地域で安心して暮らし続ける										
基本施策3 医療と介護の連携体制づくり										
<p>1-①在宅医療・介護連携推進事業</p>	<p>市独自の取り組みとして、地域ケア個別会議、フレイル予防コア会議など、機能ごとに、より実践的な体制で開催し、地域課題や地域支援体制の協議を多職種で実施する。また、個人の疾病やかかりつけ医、状態を記した「連携ノート」を引き続き活用し、緊急時、災害時などに安心して医療が受けられるものとする。</p> <p>また、西部圏域全体での取組も合わせて進める。</p> <p>きめ細やかな医療と介護のサービス提供が可能となるよう取組むとともに、地域住民に対する普及啓発を行う。</p>									
<p>1-②家族介護の支援</p> <p>ア 家庭家族用品購入費助成事業</p>	<p>在宅でねたきりや認知症で常時おむつを使用している高齢者を介護している家族に、介護用品（紙おむつ）の購入費を助成することにより、介護者の負担を軽減する。</p> <p>要介護4・5の認定を受けた高齢者の介護者に対して月額6,250円、それ以外の者に対し月額1,200円の利用券を交付。</p> <table border="1" data-bbox="846 1007 1789 1142"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数(要介護4・5)</td> <td>10人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>登録者数(上記以外)</td> <td>9人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和3年度	令和4年度	登録者数(要介護4・5)	10人	14人	登録者数(上記以外)	9人	27人
区 分	令和3年度	令和4年度								
登録者数(要介護4・5)	10人	14人								
登録者数(上記以外)	9人	27人								
<p>イ 家族介護教室</p>	<p>介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識、技術を習得し、介護者同士の交流を図ることを目的に介護教室を開催し、高齢者を介護する家族を支援する。</p> <p>※令和3年度、4年度はコロナ禍のため中止とした。</p> <table border="1" data-bbox="846 1332 1789 1468"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人員</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	参加人員	0	0	開催回数	0	0
	令和3年度	令和4年度								
参加人員	0	0								
開催回数	0	0								

基本目標											
施策の展開											
取り組みの柱・実績											
基本施策4 認知症の理解と普及啓発、予防と早期対応等の推進											
2-①認知症の予防、普及啓発、早期診断・対応及び家族支援	ア 認知症初期集中支援チーム設置事業	<p>高齢者の増加により認知症高齢者も増加することが見込まれるため、認知症の早期診断、早期対応に向け、認知症初期集中支援チームを設置し、早期に包括的な支援を行い、必要なサービス等の提供につなげる。</p> <p>認知症初期集中支援チームは包括に設置、専門医師が参加し、月1回チーム員会議を開催。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>11回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>検討件数</td> <td>13件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	実施回数	11回	11回	検討件数	13件	8件
		令和3年度	令和4年度								
	実施回数	11回	11回								
検討件数	13件	8件									
イ 認知症地域支援推進員の配置	<p>日々の相談や、ふれあいの家等で、相談を受ける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>27回</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>相談人数(延べ)</td> <td>5人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	実施回数	27回	20回	相談人数(延べ)	5人	2人	
	令和3年度	令和4年度									
実施回数	27回	20回									
相談人数(延べ)	5人	2人									
ウ 認知症予防事業	<p>住民一人一人が、ライフスタイルに応じた認知症予防を継続して実施できるよう、講演会や学習会を実施したり、認知症予防自主サークル活動などを通し、地域住民自身が認知症に対する理解を深め、「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指す。また、県内で実施してる認知症本人ミーティングへの参加を通し、認知症本人との交流を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用人員</td> <td>103人</td> <td>194人</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>13回</td> <td>16回</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	延利用人員	103人	194人	実施回数	13回	16回	
	令和3年度	令和4年度									
延利用人員	103人	194人									
実施回数	13回	16回									

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

エ 認知症サポーターの養成

認知症高齢者の早期発見と認知症高齢者が地域で安心して暮らせるよう、地域住民に認知症の正しい知識の普及を図り、認知症に対する理解を深めることで、見守りや支援など地域で支える体制づくりに取り組む。毎年小学4年生を対象に、小学校と連携して高齢者の疑似体験後にサポーター養成講座を実施している。そこには地域で活動する認知症予防自主サークルの方々も認知症サポーターとして共に参加し、普及啓発を行っている。令和4年度は企業として、郵便局と連携して、市内の郵便局員を対象に実施した。

	令和3年度	令和4年度
実施回数	27回	33回
受講人数	783人	965人

オ おれんじカフェさかいみなど

家族のつどい：介護家族や経験者が集まり、日頃の様子を話し気持ちを共有する場
おれんじカフェ：誰でも参加でき、交流を通し、健康づくり、介護予防などの情報交換を行う場
それぞれ月1回開催する。

2-②権利擁護の推進

ア 中核機関の整備

広報機能、相談機能、成年後見制度利用促進機能、後見人支援機能を備え、福祉や司法など、専門機関と連携し運営する中核機関について盛り込んだ基本計画を地域福祉計画の中に位置付けている。

イ 成年後見制度利用支援事業

身寄りのない認知症高齢者の介護保険サービスの利用契約に支障が出ることを防ぐため、市が本人に代わって後見開始の審判等の申立てを行い、後見人等を定めることで、認知症高齢者の権利と財産を守る。

令和4年度からは、後見人等への報酬に対する助成を開始した。

	令和3年度	令和4年度
市長申立て	2件	5件
報酬助成	-	5件

ウ 高齢者虐待への対応

高齢者虐待の未然防止・早期発見・対応に向け、保健・医療・福祉・警察等、関係機関との連携体制の構築を図る。

基本目標											
施策の展開											
取り組みの柱・実績											
	エ 消費者被害の防止	消費生活センター、民生委員、介護支援専門員、警察等が必要な情報提供・情報交換を行い、被害防止に取り組む。									
基本施策5 災害や感染症対策に係る体制整備											
	3-①災害対策の推進 「境港市地域防災計画」に基づき、避難行動要支援者名簿及び個別支援計画を作成し、関係機関と情報共有するとともに、地域での支え合い活動を通じた見守り活動を推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難行動要支援者名簿及び個別支援計画作成数</td> <td>691件</td> <td>671件</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	避難行動要支援者名簿及び個別支援計画作成数	691件	671件			
	令和3年度	令和4年度									
避難行動要支援者名簿及び個別支援計画作成数	691件	671件									
	3-②感染症対策の推進 国や鳥取県の方針及び対策、「境港市新型インフルエンザ等対策行動計画」等を踏まえ、介護事業所のほか、各地区社会福祉協議会、ことぶきクラブ連合会等、関係機関と連携し感染対策に取り組むとともに、高齢者への感染予防の啓発を行う。										
目標3 利用者の自立を支える介護保険サービスの安定した提供											
基本施策6 在宅介護を支える基盤の整備											
	1-①介護保険サービスの整備 ア 地域密着型サービスの整備	地域密着型サービス事業所を中心に、身近できめ細かいサービス提供や、在宅での介護・医療の推進、認知症の方への支援の充実を図る。									
	イ 介護や介護の仕事の理解促進事業	中学生や保護者を対象に介護職の魅力などを伝える講演会を開催し、介護職への理解を深め、将来の介護職人材の確保につなげていく。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため講座は中止となった。令和4年度からは中学生向けの講座に加え、保護者向けの講座を新たに実施した。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生向け講座</td> <td>-</td> <td>234人</td> </tr> <tr> <td>保護者向け講座</td> <td></td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	中学生向け講座	-	234人	保護者向け講座		25人
	令和3年度	令和4年度									
中学生向け講座	-	234人									
保護者向け講座		25人									

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

1-②介護保険サービスの質の向上

ア 介護相談員派遣事業

介護認定を受けた高齢者等の相談に応じ、介護サービスに関する疑問や不満、不安を解消するとともに、介護サービス事業者の質的な向上を図る。(介護認定調査員が兼務)

イ 事業者による情報公開

ウ 適切な要介護認定の推進

エ ケアマネジメントの適正化

1-③適切な介護保険サービスの利用

ア 事業者への指導監査の実施

市民の方が安心して適正なサービス利用ができるよう、県と合同、市単独で事業所への指導監査を行っている。

	令和3年度	令和4年度
実施事業所	8か所	13か所

イ 介護情報突合

ウ 住宅改修・福祉用具の点検

エ 介護保険制度の周知

基本施策7 自分にあつた住まいや施設の充実

ア 高齢者住宅改良費助成事業

風呂やトイレなどを改造(新築・増築を除く)して、在宅生活を続けようとする方に、改造費用の一部を助成する。

対象者:介護保険の要支援・要介護認定を受けた市民税非課税世帯の者

補助率: 2/3 (限度額533,000円)

	令和3年度	令和4年度
利用者数	0人	5人

基本目標								
施策の展開								
取り組みの柱・実績								
イ 高齢者住宅整備資金貸付事業	<p>高齢者と同居する者に対して、高齢者のために住宅を増改築するための資金を貸し付ける事業。平成24年以降は貸付実績がなく、また、既貸付分の償還が終了したため、令和3年度末をもって特別会計を廃止。令和4年度は一般会計で予算化し実施。</p>							
ウ 介護保険住宅改修支援事業	<p>ケアマネジャーの報酬算定外となる介護サービス利用のない高齢者に対する介護保険の住宅改修理由書の作成手数料(1件当たり2,000円)を負担することで、住宅改修が円滑に行われるよう支援する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実績</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年度	令和4年度	利用実績	2件	1件
	令和3年度	令和4年度						
利用実績	2件	1件						
2-②多様な住まい								
ア 高齢者世話付住宅	<p>【高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業(シルバーハウジング)】 高齢者に配慮した住宅の供給と福祉サービスの提供という二面から自立生活を支援することにより、在宅生活の継続を支援する。60歳以上で自炊が可能な程度の健康状態の者。 戸数:20戸</p>							
イ (特別) 養護老人ホーム	<p>身体上、精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、家庭で生活することが困難な高齢者を施設に措置して必要な養護を提供する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数(年度末時点)</td> <td>14人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	令和3年度	令和4年度	入所者数(年度末時点)	14人	10人
区 分	令和3年度	令和4年度						
入所者数(年度末時点)	14人	10人						
ウ 生活支援ハウス	<p>自立して生活することに不安のある低所得の高齢者が入居して生活する施設で、常時施設に滞在する生活援助員が各種相談や緊急時の対応、交流事業などのサービスを提供する。 戸数:20戸</p>							
エ 有料老人ホーム・サービス付高齢者向け住宅								